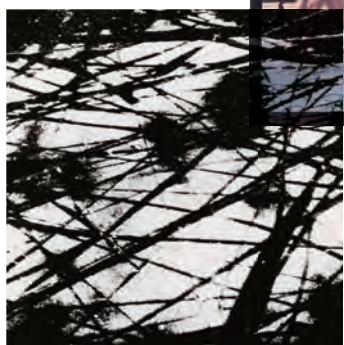


# 生誕一〇〇年 大辻清司 眼差しのその先

フォトアーカイブの新たな視座



フィルム原板に残された幻のイメージが蘇る!!

会期 — 2023年9月4日⑧ ▶ 10月1日⑨  
休館日 — 水曜日 入館料 — 無料  
開館時間 — 11:00-19:00 (土・日曜日、祝日は10:00-17:00)  
会場 — 武蔵野美術大学美術館 展示室3、4、5  
主催 — 武蔵野美術大学 美術館・図書館  
監修 — 大日方欣一 (九州産業大学芸術学部教授、九州産業大学美術館館長)  
協力 — 株式会社 DNP メディア・アート、九州産業大学  
助成 — 公益財団法人 花王芸術・科学財団、  
公益財団法人 三菱 UFJ 信託地域文化財団

**MAUM&L**  
Musashino Art University Museum & Library



# アーカイブ研究によって見えてきた、写真家大辻清司が「写し出したこと／作り出したこと」

❖写真家大辻清司おおつじきよし(1923—2001)は、実験精神溢れる写真表現を追求し、また美術、音楽、演劇、ダンス、テクノロジー、建築、都市の移り変わりといった同時代の多様な動向に立ち会い、独自の視点からドキュメントを撮り続けました。当館では、大辻が半世紀にわたって制作したプリント作品とそのフィルム原板、作品が掲載された出版物、直筆の制作メモや原稿、撮影機材・暗室道具などからなるコレクションにより「大辻清司フォトアーカイブ」を形成し、2008年の寄贈受入から継続して整理・研究に取り組んできました。作品そのものと周辺資料の包括的な検証によって制作過程を追うことは、写真家が何を見つめ、どのように対象に迫ったのか、その関心の在りどころと思考を明らかにする重要な足がかりとなります。とりわけフィルムに記録された撮影コマの連続からは、作品の背景にある試行の跡や、被写体との間に醸されていた機微までもうかがうことができます。

❖本展では、これまでのアーカイブ研究の成果を軸とし、大辻清司とはいかなる写真家だったのか、あらためてその真髄へと接近します。オリジナルプリントとフィルム原板に残された未発表のイメージ、印刷メディア上での仕事、執筆テキスト——。多彩な活動歴の中で広がりを見せた写真家大辻の実践の数々を互いに連関しあうものとして捉える構成は、本展を特徴づける視座といえるでしょう。そしてその試みはまた、アート・アーカイブのひとつの在り方を示し、その先に何を見出すことができるのかを探る行程の一步でもあります。

## 生誕一〇〇年 大辻清司 眼差しとその先 フォトアーカイブの新たな視座

展示構成／出品候補 (抜粋)

### I 原点

#### I-1 Overture [序曲]

《絡まりのオブジェ》1949年、《太陽の知らなかった時》1952年

#### I-2 Interpenetration [相互貫入]

「APN」1953—1954年、パレエ実験劇場「食食王子」1955年

#### I-3 Into the Surface [表面へ]

《海のギャラリー》1956年、《航空機》1957年

### II フォトシアター

#### II-1 Twilight Theater [薄明の劇場]

円型劇場形式による創作劇の夕「月に憑かれたピエロ」1955年、  
武智鉄二演出「彦市ばなし」1956年

#### II-2 Women, Ghosts [女、幻影]

《無言歌》1956年、文学座「マクベス」1958年

#### II-3 Love Affair in the Desolate Land [荒地のできごと]

《無罪・有罪》1959年、《現代の夢魔》1959年

#### II-4 Standing at the Critical Point [はざまに立つ]

「クロス・トーク/インターメディア」1969年

### III フォトシークエンス

#### III-1 Sequences for Deconstruction and Creation

[解体と創造のためのシークエンス]

東京ビエンナーレ'70「人間と物質」1970年

#### III-2 Chiasma on the Street [路上で交叉する]

実験映画「上原2丁目」1973年、《界限》1973年

### IV 写真と他者

#### IV-1 Invisible Neighbors [見えない隣人]

《日が暮れる》1975年

#### IV-2 Solidarity with Things [モノとの絆]

《まるめた紙》1974年、《見えぬ意味を見ぬ意味と》1977年

❖当館「大辻清司フォトアーカイブ」は、大辻清司の生誕100年を記念する展覧会に協力しています。

「前衛」写真の精神：なんでもないものの変容 瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄

千葉市美術館 2023年4月8日④ ▶ 5月21日⑤

富山県美術館 2023年6月3日④ ▶ 7月17日⑤⑥

新潟市美術館 2023年7月29日④ ▶ 9月24日⑤

渋谷区立松濤美術館 2023年12月2日④ ▶ 2024年2月4日⑤

MOMATコレクション 小特集「生誕100年 大辻清司」

東京国立近代美術館 2023年5月23日④ ▶ 7月17日⑤⑥ / 7月19日⑦ ▶ 9月10日⑧

武蔵野美術大学 美術館・図書館

東京都小平市小川町1-736

042-342-6003

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/>

